

就職内定者講話 感想文

講演題「社会人としての心構えについて」

今回聞かせていただいた講演は今まで一番ためになる講演でした。私は[]から内定をいただいています。実際、4月から[]としてやっていけるのか不安に思っている部分も少なからずありますが、真山先生のお話を聞いて、少し不安を解消できました。具体的には、職場どうまく馴染めるか、きちんと仕事をこなせるか、ととても不安でした。ですが、気がかきを大切に、失敗を恐れず、職場の方や仕事に向き合っていけば大丈夫だと教えていただけで少し安心しました。確かに先輩や上司にも新人の頃はあったのですから誠意を持ってお願いすれば仕事を教えてくれるのだと思う。しかし、それを当たり前と思わずに感謝の気持ちを言葉にするということも、社会人になってから大切にしたいと思います。また、「本当の自分なんてない。人は皆何か役割を演じていて、そのどれもがその人なのだ」というお話は、とてもおもしろいと思いました。社会生活では様々な役を演じて様々な自分が存在するということになります。その全てにおいて「気がかき」というものがコミュニケーション上最も重要だということもお聞きできました。自分を否定せず、気がかきのできる人を演じることもできる自分を好きになり、また、演じることを楽しんで生活できたらどんなに良いだろうと思いました。これから実際に社会で生活する中で、気がかきの仕事や夕日ミング、寮田気ほども吸収していけたらと思います。そして、うまく気がかきができる人になりたいです。今回の講演ではとにかく、社会人としてはコミュニケーションが大切。そしてコミュニケーションでは気がかきが大切ということがよく理解できたと思います。たくさんメモを取らせていただいたので、4月からは今回の内容を頭に入れ、気がかきができ、向上心があり、可愛いがられる新人を楽しく演じていきたいと思っています。そして先輩や上司から技術をいただき、最終的には[]を支える人材とされるよう、日々精進していこうと思います。今回は貴重なお話を聞く機会を与えてくださり、本当に

ありがとうございました。

就職内定者講話 感想文

講演題「

私は、来年4月から [] に就くのですが、同期には最年長で23歳の方もいて、正直、一緒に働いてけるのかどうかが不安に思っていました。しかし、今回の講話において、上司との付き合い方、成功するための秘訣を聞き、何かと不安が無くなった気がしました。まず、上司に気に入ってもらうための技術として、質の高い質問をする、メモを取る、質問をする前の簡単な一言、向エビを持つて相手に接するなどのことを教えていただきました。とにかく自分ももっと学びたいという一生懸命やっ死ぬ様子を相手に見せることが大切なんだということも学びました。 [] は、人の命を預かるという素晴らしい仕事です。実際の現場でミスがあっても処理が遅れるなんてことは絶対にあってはならないことだと思うので、今日学んだことを自分自身で発揮していきたいと思っています。相手の目を見ながらメモを取ることもそうでき、死ぬ覚悟を覚悟で見せれば、上司に対していい印象を持たせることができますし、自分もメモを取り、あとから見直したりすれば二度と同じ質問をしないことができますし、絶対忘れることは無いと思います。自分にとって大きくプラスになると思うので実践していきたいと思っています。次に相談相手を見つけることの大切さを知ることができました。やはり、仕事をする以上失敗することは多々あると思います。そんな時に頼れる先輩がいたらとても安心できると思うので、今日学んだ技術で応援してもらえそうな後輩になりたと思います。頼った時にはしっかりと感謝をすることも忘れないようにしたいです。教わったことを後輩に伝えるという相互依存も大切にしていきたいと思っています。講師の方がおっしゃっていた通り全て気が付くことが大切なんだと改めて思いました。

私は、就職式式馬会における面接練習のとき、「学生と社会人について違いは何だと思いますか」と質問されたとき、とても悩みました。そのときは、「責任が重くなります。」と言っていました。自分で実際にはよく理解していませんでした。今日の真山さんのお話を聞いて、とても勉強になった部分が多くありました。「コミュニケーション力」とは、よく聞く言葉ですが、真山さんがおっしゃった自分の話をおぼえてくれた、などささいなことからもコミュニケーションという力を持っていると思うことがとても印象的でした。また、コミュニケーションの中で、メモをとる、質の高い質問を心がけるなど行動面でもすべきことを教えていただき、勉強になりました。もう一つ、印象的で心に残った言葉は「視点を変える」です。嫌だ、自分では出来ないと思ってしまう仕事は、無意識に避けてきたように思います。それを真山さんはそのような仕事もチャンスだと思え、やりがいを見つければ良いとおっしゃっていたことに心にくるものがありました。社会人になると、苦手としている仕事でも避けては通れなくなると思います。そんなとき、今回の話をおもいだして、前向きに仕事に取り組みたいです。苦手を克服しようと一生懸命になればその物事は一流になる。これは絶対に忘れないと思います。また、「恥をかかないと成長はしない」と、「自分の弱みを見せる」となど、少し考えたこともなかったことでしたが糸内得るような話でした。今日の話は、考え方を教えてくれたいいお話でした。卒業まで短い時間ですが、視点をかえて物事を見てみたいと、有意義な生活を送りたいです。

就職内定者講話 感想文

3年 組

私にとって今回の講話はとても価値のあるものでした。それはこれからの生活-卒業までの学校生活、社会に出てからの生活で活かしていけるアドバイスをたくさん教えていただいたからです。私が一番聞くことができて良かったことは社会で生きていく上での留意点についてです。まずは、「恥をさらして、成長していけ」というアドバイス。わからないことは素直に質問していく、失敗を恐れず仕事から遠ざかってはいけなさいという言葉はとても心に響きました。このことは仕事を辞上で当たりの前のことではありますが、実行とはなると難しいことのように思います。人は誰しも自分を守りたいものですが、恥をさらしてでも成長するチャンスや仕事を覚えるチャンスを掴み取っていくことが大切なのだと思うことがありました。もう一つは「視点を変えていけ」というアドバイス。自分の行動を相手の視点で見ることや、自分の改善すべき所がわかり、自分が好きなのは自分にならしていく。上司に怒られて気持ちがいじけてしまっても、自分はまだ上司に関心をもってもらえているんだと視点を変えることで、前向きになれるなど、社会で生きていく知恵を教えてくださいました。今からいかに生活に取り入れられることもたくさんあり、厳しい社会で生きていける人間になれるよう実践していこうと思いました。これからまずは、覚悟を決めます。自由でも平等でもない厳しい社会で生きていくことの苦悩をよく理解し、その中で生き抜いていく覚悟をしっかりと決めたいと思います。

1 講演日時:

2 演題: 進路講演会 (〇〇〇〇の皆さん)

3 講師: 真山 秀也 先生 53才
まやま しゅうや

4 講演会の内容のメモ

仕事 <が>にないが!! = 度力 食ってない、

能力 持ってるか 「カリガ!! - 楽しい」 コフコウ

進卒 = 就社 しゅうしゃ

どうせ何もできない... しっかり仕事を覚えておこう!! やる気が大事!!

学校生活で 何をがんばりました!!

学校時代に 何をがんばったか

あつあつが イメージしてくれる!!

かならず聞かれる = 何ができますか?

「友達がいなかった...」 グループ活動がイマイチ (ニガテ)

↑ 秀也先生 以外!!

女の進路で悩まされたら... 「なれないんだ!?!」

演じてあげて... (ちよと悲しい)自分

まぬする力を身につけた!! 多岐的なるものをやる!! 感謝すること大事!!

5 学んだこと・感想 社会とは? いつのまにか、だれだれにならっていく。

私自身も驚いているのですがこれほど講演会でのメリコンたのは初めてでした。秀也先生の一言一言聞き逃さず必死にメモをとりました。私はまだまだ未熟なほど無知であります。ですが秀也先生の話を聞いてとても嬉しく思っています。

次に一番印象に残った言葉を紹介いたします。それは「自分の未来はいくらでも変えられる」です。この言葉聞き私も自分としっかり向き合い自分が悔いの残らない職・未来を捕まえたいと思います。秀也先生がおっしゃっていたテリニツクヤ技を身につけてこれから頑張ります。本当にありがとうございました。

1 講演日時: 5/16 (金)

2 演題: 進路講演会「~~XXXXXXXXXX~~の皆さんへ」

3 講師: 社会保険常務士 真山秀也 先生

4 講演会の内容のメモ

- ・ 仕事を覚えるよとある。やる気。学校生活でどう頑張ってきたかを伝える。
- ・ できないけれどやりたい時 → 上手い人のマネをする。真似る力。演技だと思え。
- ・ 感謝すること。社会人には「お世話」に慣れる。「真面目」と言われるのは嫌なの、真面目という立場に立っている。現状を打破せずめぐる場にはかたがた。自己分析のために色々なことをしよとある。自分のことを知るために生きて。長所・短所 → 客観的に自分をよく見れているかを聞いている。
- ・ 自分の努力で環境を変える。絶対に変えられるもの → 自分の未来。いくらでも。就職がゴールではない。
- ・ 克服すべき点をなすために仕事をする。ある物を色々な角度から見詰める。答えの出ないものをみつめる。
- ・ 自分で考え抜いてから相談しに行く。「～までやって何がどうだろう」「～をいけばほらないと思うかどうだろう」
- ・ 選択指の幅を広げる。お世辞。相手の話を聞き出すための。自分から聞かないと良い話は聞けない。
- ・ 自分から教えるつもりで話さない。自分から調べる。低姿勢。本当に相手の事を考えているのは、本当の言葉が出る。あんなの考えにあてはまりません。私は ← このアポールが大事。やりがいは作りだすもの。
- ・ 困難な事も有り難いと思える!!。できないことを克服する為に住みかてきた。仕事もそのために。
- ・ 一つの職種に拘らない。自分なら何だってやる自信を持つ。やりが求めキャラを演じ、合わせられ
- ・ 「貢献する」とは。自分が大事だ → 大事にする為には回りに優しく → だから貢献する!! とコレ
- ・ 感謝と気遣いは具体的に表す = 言葉にして伝える。「おはようございます!!」相手の気持ちを

企業が
自分とが
質問の性質

気遣い

5 学んだこと・感想

今日の真山先生の講演では、様々な事を知り、学ぶことが出来ました。その中で、特に自分の力にしたいと思ったのは、「真似る力」です。私はこれまで、人の真似をするのはずいともだと思っていたので先生の話は正直とらなかな、と思いました。ですが、人の上手な人の真似をしていくことで良いものが得られ、それがいつか自己の力になるならば、別段駄目なことではないのだなと思いました。これからは上手だと思う人の良い部分を吸収して、自分の力にしたいです。また、真山先生には、ある物を色々な角度から見詰める重要性についても話をさせていただきました。私は主観的に物事を見ていたのですが、今度からは客観的に見詰めて、多様で柔軟なものの考え方を心がけてやみたいなと思いました。今日は真山先生の講演を受けることができて、本当に良かったです。ありがとうございました。

1 講演日時: 5/16(金) 5.6 時間目

2 演題: 進路講演会

3 講師: 社会保険労務士 真山 秀也 先生

4 講演会の内容のメモ

相手に応じて ベストな自分を演じる。 (自分がかりでいい) 居やすい環境を作る。 リポートする (自分がたことに対する返答をする。)

- 自分の都合はつうようしなさい。 ○新卒で"仕事につくには学校時代に何を頑張ってきたのか" ○転職するには身につけられるものは身につけておく。
- できる人をマネをする → マネウカを身につけておく。 ○覚える、やる気、よい人と接する
- 感謝射を忘れる ○社会人とはじいじになつていくもの ○自分に向いているものを探そう
- 自分が分からないから住まざる → 分からない自分を知らうとするから。 ○客観的に自分をみるのが大切
- すべての職業を経験が"できるおける"はないので何かの縁で"いい仕事"をやり始める
- 自分の未来は"いくらでも変えることができる" ○短所を克服する → 別の角度から見る
- 答えのないものを"金"な角度から見ると ○企業では質の高い質問をきかされている
- 自分の親に自分の車の頃の話を聞いてみる。 ○コミュニケーション能力は"ちから"から質をする
- 相手の気持ちを考えて質問をする → 失敗したときに助けてくれる人が"できる"
- 背伸びしたやってみる → 成長を感じれるようになる
- 困難があつて"成たり"ある ○やってみたら"以外"と簡単"成たり"ある。おもしろがる
- "気"つかいは大切 ○自分にとって"こう"とは何か。 ○聞かせる"言葉"の"意味"を考えておく。
- 言葉に"しな"いといふから"ない" → 自分の身を守るために、"積極的"な自分をアピール
- "厳"しい世界で"けど"やりがえを感じれる。 自立とは自然に"ある"もの。依存する力 → 依存する"こと"も大切

5 学んだこと・感想

報告・連絡・相談をする → 自分の都合が無"い"ことを"先"に報告する
し相手に"つ"くる(自分の弱み"を"示す)

今日、真山先生の話きいて自分には質の高い質問ができて"ない"と思ひました。また、自分の弱みをさらすことや恥をかくことは"い"けな"い"ことではな
く"自分"のみかたになつてくれる人を作る上で"とても"大切な"こと"か
分かりました。その他には、相手によって"ベスト"な自分を演じる"こと"や
"別の"角度から自分の短所を"見"てみる"こと"、"など"を"学"ぶ"こと"が"でき"ました。
"会社"が"ど"んな"に"大切"な"こと"か"を"して、"自分"の"い"や"す"い"環"境"を"作"る"こ
と"が"必"要"な"と"な"る"の"か"を"知"る"こ"と"が"でき"て"よ"か"た"で"す。
"卒業"する"ま"で"に"今日"学"んだ"こ"と"を"い"か"して"い"き"成"長"して"い"ま"い"で"す。

依りつら 相手を気遣う。相手のしほにするとはな。 (は。報告しよ。)
 一言つら 演じる = 相手の気がかり。相手のしほにするとはな。 (は。報告しよ。)
 9:00-10:00 ~の時はすぐ報告ある時に。 (は。報告しよ。)
 居るに気がするやうにやうにやうに。 (は。報告しよ。)
 出来ることはせやうに。 (は。報告しよ。)

1 講演日時: 5月16日 5.6時間目

2 演題:

3 講師: 社会保険労務士 真山 秀也 先生

4 講演会の内容のメモ

気がかり → 自分への気遣い → 普段のことも見出し 短い文章にまとめる。

中途、新卒の違。 → 中途「この仕事ができる」新「やる気」仕事をおぼえてくたさい。

仕事をいいて中で得意なものが見つかるとはしない。

それを見つける前に仕事をせめるのはもったいない。再就職ができない。

自分ができることと否定することはない。できる人のことをまねすればできるようになる。

まねることとできるようになればいい。演技だと思えばできる。感謝する!!

【主目】 → 今の現状を打破せずに、その場にとまるとどうあるのでは? 自分を知らぬに生きる。

「長所、短所を教えてください。」 → 客観的に自分を見ろ努力をしたかを見たい。

すべての仕事ができるわけではない。何かの縁で見つけた仕事に合わせよう努力すること最高な仕事。

未来はくらでも変えられる。その1つが仕事に就くこと。長所と同時に短所(克服すべき点)が見える。

克服するために何をせよかながら仕事するとう考え方もあり。選択肢は自分で決められる。

自分を色々な角度で見ろ。 → 短所を見て見ぬふりをしない!! 克服するためにどうすればいいか考える。

見つからなかつたら、先生に「先生の見方はどうですか?」と聞いて最終的に自分で見つける。

質の高い質問ができるように。親に自分と同じ年の頃に何を考えていたか聞いてみる。 → おせよと言う。こちらから質問する。 → 身につけておいた方がいい。

相手のことをきちんと考えてくれれば、言わなければいけないことが言える。仕事を取り組む方がおもしろく感じる。物事を色々な角度で見ろ!!

5 学んだこと・感想

私は進学するためにどうしようかと面接で言えはいいか悩んでいました。

ですが、今回の講演会で企業にとって都合の良いことを言うというのは、

大学での面接などにも使えるのではなかと思いました。そして、私も普段から

自分のキャラをせぬことはしたくない取柄かと思っていました。自分を演じるというの

は好きだと思いません。そして、相手を気がかりにや感想の気持ちを忘れないという

ことも普段、忘れがちなことなことで、これから大切にしようと思しました。「自分を知る

ために生きる」というのはなるほどだと思しました。「報告、連絡、相談」というのは先生や親にも言われていたことで、これからは忘れずにしようと思ひます。

相談すること身につく。

自分の弱点をすけ出す。

→ 水ではたかたか頑張る。

先生達と相談すること身につく。

【相手】 → 自分からしていいからせよたに負けない!!

相手が聞かれる。 → 相手が聞かれる。 → 相手が聞かれる。 → 相手が聞かれる。

取柄を大事。

あんなに...
 ↓ 積極的なところを見せよう
 ほんとうが...
 報告連絡は自分に都合の悪いことをま...
 相談すること...
 大事な

1 講演日時: 5月16日(金) 五・六時間目

2 演題: 進路講演会

3 講師: 真山 秀也 先生(社会保険労務士)

4 講演会の内容のメモ

やり気のない社会をどうやって辞めさせるか!

・必ず面接時に聞かせること...あなたは何が得意か!

新卒採用の人間はすべてを賞えて・長所短所を正しく自分を客観的にみているかをモウクという感じを採用されるのだ。みられている。

コミュニケーション力はきことも大切だが、相手に質問をすること大切。

学生時代に何を頑張ったかをしっかりとアピールすること。

・苦手なことをどう上手く出来るようにするか → 出来る人の行動を模倣する。

感謝をすることは大切。苦手なものを克服できることこそが大切。

社会人になるのは社会に出でからでは遅く徐々にならなければならない。

真面目であるが、殻を破らずに内にこもっていることじゃないか...?

自分を知らずのために生きているのかも知らない。自分の努力をもって未来を変える。

最高の未来をつくるために仕事に就く。自分の克服すべき点を克服してからの仕事

する。色んな角度から物事をみて考える。どうしても分からないことがあつたとき

はあと一歩という所まで自分で考え、あと一歩がどうしても分からないならば周りの意見をきく。相手に負遣いを持って接すると、自分にとっても相手にとってもよい環境になる。

5 学んだこと・感想 やりがいい仕事をするには、自分をつくる。

真山先生の話を聞いて学んだことは、自分で一歩踏み出す努力がある

のかどうかということです。苦手なものを克服することや物事を客観

的に考えると、こういうことは、自分自身をよく知っているければ恐らく達成

できません。ならばまず自分自身を知ること、努力をしなければいけないん

だということ、大切なんだということがわかりました。私は特に物

事や自分を客観的にみること、考えても分からないことを誰かに相談し

自分の納得のいく答えに近づけるということができません。ですから自分自

身を知ること、努力を怠らず、自分の目指す未来をつくれたらと思います。

1 講演日時: 5月16日(金) 5,6校時

2 演題: 進路講演会

3 講師: 社会保険常務士 真山 秀也 氏

4 講演会の内容のメモ

- やる気があるか。 ホウイイウ・自分にとって一番つごうの悪いことを言う。
- なにかができるか、強みを身につける ・相談することが大切、相談する相手をつける。
- 出来る人を真似る力。真似ることによって自分の力にする。演じる。 ↳ 自分の弱みを隠した。
- 感謝することが大切、居心地を良くする、感謝を表現 ○ 距離を縮める
- 真面目、現状を打破しない ○ 分からないことを やりすぎずいい。
- 自分のことを知らないから、生きる。知るために生きる。 ○ 恥を下げ
- 客観的に自分を見つめられるか……長所や短所を言え子か
- 就職がゴールじゃない (努力で自分の未来を変えられる)
- 段々自立していく。 昔々からのことも工夫して、得意な人に負けない
- 短所を見ぬ振りしない、選択できる
- 色々な角度から見ると、考える。自分自身を。自分を見つめ直す。あと一歩分らない ↓
- 質の高い質問、人から話を聞き出すテクニック(コミュニケーション力) それを質問
- 相手を気遣う、自分にとって貢献ということについて考える。気遣いの言葉
- 聞かぬの良いキーワード(コミュニケーション力) 具体的な答えを言葉で準備しておく
- 大きな声で「おはようございます」自分は元気です。仕事を任せたくない。積極性

5 学んだこと・感想

今日の進路講演会では、社会人として大切なことや今の自分にできることなどを学びました。自分を客観的に見つめて、長所と短所を見つけること。長所が少なく短所ばかりかと思いつかなくとも、自分の進路を狭めずチャレンジすることの大切さ。物事を様々な角度から見ることに。出来る人を真似て自分の力にしていくこと。努力で自分の未来を変えられるということ。相手を気遣い、感謝の気持ちを言葉にして表現すること。質の高い質問や人から話を聞き出すテクニックなど今から意識していきたいと思います。そして、社会人になるということに少し焦りがあつたので、今日の段々自立していけばいいと聞いて安心しました。

1 講演日時: 5月16日(金)

2 演題: 進路講演会

3 講師: 社会保険学修士 真山香也先生

4 講演会の内容のメモ

相談する相手を作る → 先生を相談相手にしてしまえ。

- ・ 求職者と採用者が一致(話が)かきあかす) けれどならない。
- ・ 求人 → 会社の内容を覚えてもらうため。
- ・ 学校生活の内容でのりこえたこと、がんばったことを具体的に!
- ・ しらべてないけれど直接で「なにができてますか」ときかえる。 就職してはいる
はい、はいある。
- ・ 5回転職した中で真似をすることを身につけた。感謝することは大切。
- ・ 社会人、ってなに? → じいじに社会人にならなくていい。 あかたぶりを取らない!
- ・ 長所と短所 → 自分のことをきき、積極的に物事をやることを知っていた。
- ・ 自分の未来は変えられる。けれど自分が動かなければいけない。 報告、連絡、相談
は悪いことを先に言う!
- ・ 短所はたくさんある。 → 克服することからできろ!
- ・ 自分はあと一歩というところまで、答えが公にならなくて、先生の意見がききながら、自分の考えをきく。
- ・ ロジックマター(おせい)を言うことを身につける → 人から話をきくテクニック!!
- ・ 質のいい質問をする。ストレートに質問してはいけない。相手の気持ちを知らず。
- ・ 仕事は苦しいけど、楽しい、面白いことは、仕事の中で作る。
- ・ 気持ちがいいをする。自分はあとまわしにね。コミュニケーションをとる → そのことを短い文章にする。
- ・ 言葉にしないと相手はあからない。居心地をつくら、Xをとる。

5 学んだこと・感想

私はずっと自分の将来の夢はかりを言っていたけれど、自から行動していませんでした。香也さんが言っていた、自分の未来は変えられる。けれど自分から行動しないとだにも動かさないと思ったので、今、自分ができるところ、じいじに行動かいらったしたいなと思いました。それに、相手の気持ちや感謝の気持ちはアルバイトや働いて、いくうえで本当に大事なとだたなと思いました。報告、連絡、相談などは、悪いことを先に言うくせをつけたらいいと思います。この講演会で自分はなにをすべきなのかがあかたぶらな気がしました。今日は、本当にありがとうございました。

1 講演日時: 5月16日(金) 5.6 校時目

2 演題:

3 講師: 社会保険労務士 眞山 秀世 先生

4 講演会の内容のメモ

- 「幸せじゃない人には」
「あなたは何ができますか」「たのしい」「みりくを感じる」→ 会社側との意志がちがう。
- 「しっかり仕事を覚えろとある人」= やる気。(学校生活でどんなことも頑張ったかを話す)
- ・できる人を真似おぼえろとできる。= 真似ある力を身に付けるのが大事。(細かい所から真似する) えいざいと思う。
 - ・感謝あることが大事。・考えとみればいろいろの所にか社会人になっている。
 - ・「真面目」と言われるのはイヤ → でも真面目でいたほうが楽。
 - ↓ 新しい道を開こうとしないのが真面目ではないのか???
 - ・自己分析 (生まれてから自分で自分のことをどんどん知っていくのは?)・長所・短所
 - ・客観的に見るのができる人かを知りたいだけ。(長所・短所を聞くのは)
 - ・何かの縁を大切にすることで仕事に就き、努力あることで最高の仕事ができるのでは?
 - ・自分の未来は変えられる。・長所を見つけると短所も見つける。→ 短所をこまかく あるのが大事!
 - ・色々な角度から物事を見るのが大事。→ 色々な角度から自分を見よ → 自分なものを 本当にしない。
 - ・自分で考えたけど一歩先が見つけられない場合「先生はどうしますか」と聞くこと! 答えは 聞くな!
 - ・お世辞。(相手の立場に立ち相手が欲しい言葉をかけること) 質・高い質問。相手のことを考えながら質問ある。(次につなげられ質問もある)。相手の事を想えば言葉は出てくる。→ なります。
 - ・相手が求めたい人物になりますのが大切(?) 仕事のやりがいにはみつけられなくつくりだす。

5 学んだこと・感想

進学にも聞かされたことと同じような言葉だ、たのびとでも勉強になった。「真面目」と言われるのはイヤだけど、真面目でいるのは楽とおっしゃっていたことに、少し共感しました。自分自身も真面目といわれることはないけれど、その考えがなかったことなかつたので、でもそういう考え方もあるんだな。と思いました。話を聞いて改めて思ったことは、1つの考えだけでなく、色々な視点から物事を客観的に見るのが大切なんだと思いました。1つの考え、答えが出たとしても、それが見えなくなってしまうので、これからもう少し色々な考え方をしていきたいと思いました。今回話を聞いたことを自分の進路に繋げていきたいと思っています。

1 講演日時: 5月16日(金)

2 演題: ~~講演~~の皆さんへ

3 講師: 社会保険労務士 真山 秀世 先生

4 講演会の内容のメモ

しっかり仕事を覚えろとやる気持ちは大切。

自分のコミュニケーションとは何か

面接に大切なことは、学校でがんばってきたことを伝える。具体的に話さないと伝えない

"がんばります"を連呼しても効果なし ^{きちんと表現する!}

積極的にやること

仕事ができる人のマネをする。感謝することは大事。依存することも大事。

真面目、と言われると嫌だけれど、乗になる?

質の高い質問が

自分のしたいこと、しほりなこと、ことで仕事が見つかる。相対リストで自分を演じる。

自分のことを知るために生きる。いろんな角度で自分をみとみる。(相手の言った言葉)

長所・短所について...客観的に自分を見ることできるかという質問

企業との縁を大切に。自分の繁華で環境を作る。自分の未来は自分で作る。

自分が最後の最後まで答えが見つからなかったら、先生に聞く。(先生は、たぶんどうか)

お世話のビジネスマナー コミュニケーション は、自分から質問するよりも聞く

相手を気遣って質問が。セリフばかりで気持ちが大切。

会社側がメリック的な人物を求めているのは、自分がそのメリック的な人になる。

何のために生きているの? → いろんなことを克服するために生きているのではなにか?

気遣いができる人は仕事もできる? 自分にとって、こうゆうことは何か?

5 学んだこと・感想

今回の講演会はとても分かりやすかったし、社会についてたくさん学ぶことができました。面接でよく言いかけた「コミュニケーション力」「頑張ります」などはあまり効果は無いんだなって思いました。私、私も人と接することが苦手なので周りの人のマネをして接してみようかなと思いました。今までどう接していたのかが分らなかった。なので、とても良いアイデアだなと思いました。そして、積極的に質問をしたり、コミュニケーション力も高めていけばいいなと思いました。もうすぐ就職活動や受験も近づいてくるので、今回学んだことをいかし、感謝の気持ちを忘れず頑張っていきたいです。

1 講演日時: 5月16日(金) 5,6校時目

2 演題:

3 講師: 社会保険労務士 真山 秀世 (はまや しゅうせい) 先生

4 講演会の内容のメモ

会社は自分のつごうは関係ない。新卒でとってくれる会社は仕事もおぼえよう。

学校でどんなことをがんばったか。やる気のある人がほしい!!

どんどん仕事をして、しかり身に付ける

できる人のマネをしてやってみる。それらの仕事かできる。→マネる力をつける!!

仕事場の仕事をできる人もまねる。←自分を演じてみる

感謝することから大切。社会人はじじいになっていく。まじめはやたけと一番楽

まじめ←からの中にして外にでないだけで?

具体的に見ないとやらないと決められない→自己分析→けど分からない

→色々な体験をしてみるのループ。面接で短所長所もきかれるのは自分を客観的に見れているか? 自分の努力で環境をかえる!! 自分の未来はかえらる。←

行動しないとダメだ付とわ。短所は売販するのためのもの!! 長所も大事けど短所も大事

お金ももらいながら売販するのか就職。他の目視でみてみる→仕事につ

なかる。先生に聞くのは自分で考えて2歩かふみたせながら。

質の高い質問、他の目視で自分を見てみる。会社では色々な仕事かまっている

自分もみつめなおす。例 お父さんやお母さんへ高校の時を思い出

5 学んだこと・感想

私はこれまで自分の長所をいかした所で就職を探してきました。しかし今回真山先生が短所を売販するために就職先を苦手の方にするのも一つの法方みたいなことを言っていたのでそういう考え方もできるんだなと思いました。また、会社は自分のつごうは関係ないと聞いてたしかにそうだなと思いました。会社は仕事かできる人が欲しいだけで、私のつごうはまったく関係ないと思いました。

今回学んだことは自分を演じてみることと、自分のために相手を気づかうことです。この2つは就職した時、絶対に自分の身を守ってくれると思うし、高校からでも多分できるかなと思ったからです。

5 学んだこと・感想など

今回、進路講演をお聞きして職業の選択についてより知ることができました。私は自分の長所や好きな事ばかり考えてこんな仕事がいいと考えていました。しかし、今回の講演をお聞き、全く別の考えを知ることができました。それは、その仕事の困難さというものを見つけ、その困難をどう乗り越えるかを考える。やりがいのある仕事に変えてしまうという努力をする、ということです。私は自分のやりたいことばかり考えていましたが、このようなことも考えながら、自分の進路を実現していきたいと思えます。今回はありがとうございました。

5 学んだこと・感想など

今日の進路講演会で、社会人になるという大切さを学ぶことができました。就職は、誰にでも通る道なので、「覚悟」をつけて、自分がやりがいを感じられる仕事にしていきたいと思えます。面接では、大きな声とお辞儀が大切であるということが分かりました。また、弱みをさらけ出すことで、相手の方よりよい距離感を保つためには、大切なことだということも学びました。他にも、物事を見る時、角度を変えることで、自分の未来を変えることができるということも、学ぶことができました。

今日、学んだことを、これからの進路に活かして、責任感があり、世の中の為に貢献することができる社会人になっていきたいなと思えます。そして何よりも自分が好きだと、心から言える人になりたいと思えます。

5 学んだこと・感想など

今日の講演会を通じて就職にしろ進学をしてから就職をするにしろ就職には「覚悟」が大事で覚悟を決めた時にその先の困難に対してどう乗り越えたり決心するかが大事であることを学ばせていただきました。そして今までは自分を客観的ではなく自分を自分で決めつけ過ぎていた自分がいたのだということが分かりました。さらには自分の中の短所を自分をさらけだしたりすることで+になることもあることを改めて知り貢献が誰かのためではなく、自分のためのものであり、成長につながるためのものだということを知り今後、自分のやりがいのあるものを作りあげていきたいと今回の講演会で気づかされました。

5 学んだこと・感想など

今回、真山先生の話を知り、就職活動は決して苦しいというイメージがあり、嫌だとは思っていましたが、この仕事は嫌だけれど、自分の長所は何なんだろうと考える時、考え方、見方を変えるのが大切で、会社は色々な人を求めているから大丈夫です。私も、覚悟を決めるべく、いい人を演じることもあり考えたことがあったけれど、大切はこれなんだとよくわかりました。

コミュニケーションが具体的にどのように役に立つのか、ありかたはあったけれど、仕事をやる原因は相談をしてくれる人がいないから、会社の中で相談ができる人に会いたいことを教えてもらう人を見つかるまで、そのために自分自身を磨いていかなければいけないと思っていました。

5 学んだこと・感想など

今回は進路講演会に行き、ありがとうございました。
私は就職を希望しています。就職するにあたって的確なアドバイスを教えていただき、とても勉強になりました。私は今、自信です。私の中で一番の強みです。この強みを武器に、今後とも頑張りたいと思いました。また、社会人になれば色々な壁にぶつかるけれど、先生も言っていた、「覚悟」をしっかりと持ち、辛い壁でも乗り越えられるよう社会人になりたいです。今回の講演会を今後にも生かせるように一生懸命頑張りたいと思います。今日はありがとうございました。

5 学んだこと・感想など

今日は進路について話をしてもらいました。私は就職とは決まっていますが、ちゃんと決まっています。今決めているながらも、自分に向いていない仕事、とがあるし、自分が今何がやりたいのかも、全然分らないのですが、今日真山先生の話をきいている中にも話があったので、今日からちゃんと進路に向きあって卒業する前に、就職の中身を決めていきたいと思っています。あと、これから自分と自分のことが好きになれるように、頑張りたいと思います。

今日は進路のことについて話をありがとうございました。

5 学んだこと・感想など

お忙しい中私のための貴重な講演会を開いていただきありがとうございました。
 真山先生の体験談を聞いて、いろいろお話を伺っていて、たくさん大変な思いをされているの
 が真山先生からいろいろお伺いすると、何故か私に自信が湧いてきました。
 私は高校卒業後は進学を求めています。私には夢があります。親戚に代わってやるという夢が
 あります。その場合、例えば「夢に叶った着て来ない道」になつてしまいます。でも就職に
 して夢があるので、努力をして、自分に負けない、お金の難しさを負けないようにしていきたいと思
 っています。これからは一つの夢があります。「お母さん」に対する立派な大人になりたいです。
 何故なら、お母さんの仕事は「人への職」です。お母さんの仕事に尊敬しています。お母さんの日常生活に尊敬しています。
 いろんな困難にも乗り越えられる人間になりたいと思います。

5 学んだこと・感想など

今回はお忙しいなか、来ていただきありがとうございます。私は就職
 したいと考えているので、今日のお話は大変なためになりました。今まで、
 ぼんやりイメージがつかない「覚悟」のこと、「会社」のことが具体
 的に分かった気がします。また、「質問をすること」、「人に頼ること」は
 人を信頼することにつながるんだと思う。今回の講演会で、
 物事をいろんな角度で見ることは、自分のためになることだと学ば
 ました。やりがいのある仕事に変えるには、自分の考え方を変える。と言うのは
 物事をいろんな角度で見ること、関係して、大切なことなんだと思
 いました。今日は身に付く話が多く、就職に大いに役立つものが沢山
 ありました。これを活かして、就職活動も元気で頑張りたいと思います。
 本日は本当にありがとうございました。

5 学んだこと・感想など

今回とても素晴らしい講演をありがとうございました。私にとって、お母さんにとって
 ためになる講演でした。誰しも通る就職は、人への大壁です。怖いですが、しかし、真山先生
 は私たちに自信をつけてくれる言葉をかけてくれました。数えきれないほどのことを教
 えてくれました。マイナスはすべてプラスにかえる真山先生は「すごい人だ」と思います。
 自分の体験談を語り、見方を変えた話もとても重みがありました。ウーテン話も
 あることなく、最後は集中して聞きました。私は自分に自信がたか、いちいち周りを気にして生
 活しています。何でもネガティブに考えしまい、ポジティブにはなれないのが私です。今日からは
 運い出してしまいませんか、真山先生が言った「短所を長所に改め」をやる、徐々に
 ポジティブになれる日が来る気がします。特別に何を学ぶ、書き残さないほどありました。か
 意識し、そして自分に自信を持ち、生活していき、良き自分に変わるようにしていきます。
 客観的に見て、もっともっと強くなり、卒業し、社会人になり、働く大人になります。

前向きな気持ちになりました。私も、これからの目標として

「印象の良い人」「情報収集力のある人」

「向上心がある人」「実行力がある人」この4つを兼ね備えた人になる事を目標として生活していこうと思います。この機会に真山さんからお話を頂いたことを、とても嬉しく思います。今日は、ありがとうございました。

5 学んだこと・感想など (1)

7/27 19:00

今日の講演会を聞いて、真山先生の話し方も分かりやすかったからか本当に言葉に出来ないほど、メモに取っていました。これからの進路についての情報ほど沢山教えてもらったので、最後に一言を言う時も言葉がでて来ませんでした。一番印象に残っているのは、「演じる」ということ。演じる、真似る、これって本当に大事だと思いました。担任の先生も先生に取っての時に、先輩の真似をして成長していったと言っていました。私も思えばアルバイトで店長からの指摘も多くありましたが、アルバイトに慣れるには先輩方の真似をするしかないんだよね。今回の真山先生の話を聞き、先輩方にアドバイスを頂こう、と

5

前
「
た
あ
こ

5 学んだこと・感想など

私は今日の進路各講演会で今職場で働いている人達が求めているものは多いと感じました。その一つとしてコミュニケーション能力が必要なのだと知りました。私は部活動で演劇をやっているのですが、言語の中にある仕事を行っている自分を「演じる」ということや「言葉のキャッチボールが大切」ということは演劇と共通する部分がいくつかあり、驚きました。さらに、演じる際には中途半端な気持ちでやるのではなく、本気で命をかけて演じることも大切なのだと思います。なので私は、京大職に向けて問題集や面接練習だけでなく基礎的なコミュニケーション力(あいさつ、聞く力)を身につけたうえで言動馬鹿にのぞむようにしたいです。

5

5 学んだこと・感想など

今回の講演で真山先生のお話を聞いて少し不安が和らぎました。面接どうまく答えられるか、自分の長所がよく分からないなど不安がありました。面接での答え方や短所を克服することを教えていただいたので今できることを頑張ろうと思いました。就職してからは続けられるか不安がありますが、教えていただいた事を実行して精いっぱい取り組むしたいと思います。また気遣いの言葉は本当に大切な事だと思いました。私も仕事選びを消去法で考えていたか"で"できるできないは考えずに考えていけたらと思いました。

5 学んだこと・感想など

今回進路講演会を聞いてこれから先の未来を先と見ながら進路を考えると大変だと思いました。しかし卒業後のことなど想像がつかないためたのですが、今からできることと見みえにして行けば社会の中で役にたてるのだと思いました。仕事は99パーセントおもしろくないことかあるとして1パーセントはうれしさがあることこのことにより働いていける仕事にしたいなと新たに思いました。基本的な情報など自分からまがはとり組んで、社会の中で必要な感謝の気持ちと伝えたり、尊敬の意志を持って仕事をしたいので、今からがんばりたいです。

5 学んだこと・感想など

今回の真山先生の講義では、自分とあてはまる部分も多々あり、タメになる話しばかりでした。自分も人と話すことが苦手なほうで、社会に出てから不安に思うことがありました。しかし、社会に出ていく事で、コミュニケーションがすごく大事だということが分かりました。そのために、"人の話しをしっかりと聞き、メモを用いる"ということをおぼえ、また、自分のキチを捨て、役にたてるを活用していきたくです。真山先生には、会社側が求めている人や、面接で使えるような所も細かく教えて頂きました。就職は誰もが通る道なので今回お話し頂いた事は活かしていけるとおもいます。